

別表第 4 施工管理記録様式

目 次

様 式	名 称
	(出来形管理関係)
1-1	出来形管理図表 (表紙)
1-2	品質管理図表 (表紙)
2	出来形管理図表 (図表)
2-1	行 程 能 力 図
2-2	度 数 表
3-1	測 定 結 果 一 覧 表
3-2	鋼管溶接測定結果一覧表
3-3	鋼管溶接、塗覆装点検表
3-4	管水路ジョイント間隔測定結果一覧表
3-5	埋設とう性管たわみ量管理表
3-6	鉄筋組立検査結果一覧表
4	杭 打 ち 成 績 表
	(コンクリート関係)
5	セメントの密度試験 (JIS R 5201)
6-1	セメントの粉末度試験 (比表面積試験) (JIS R 5201)
6-2	セメントの粉末度試験 (網ふるい試験) (JIS R 5201)
7	セメントの凝結試験 (JIS R 5201)
8	セメントの安定性試験 (JIS R 5201)
9	セメントの強さ試験 (JIS R 5201)
10	細骨材の密度および吸水率試験 (JIS A 1109)
11	粗骨材の密度および吸水率試験 (JIS A 1110)
12	細骨材の表面水率試験 (JIS A 1111)
13-1	骨材のふるい分け試験 (細骨材) (JIS A 1102)

様式	名 称	
13-2	骨材のふるい分け試験 (粗骨材)	(JIS A 1102)
14	骨材試験成績一覧表	
15	コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験(空気室圧力方法)	(JIS A 1101) (JIS A 1128)
16	コンクリートの圧縮強度試験	(JIS A 1108)
17	コンクリートの曲げ強度試験	(JIS A 1106)
18	フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験	(JIS A 5308) (JIS A 1144)
19	骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)	(JIS A 5308) (JIS A 1145)
20	骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)	(JIS A 5308) (JIS A 1146)
21	鉄筋の曲げ試験	(JIS G 3112) (JIS Z 2248)
22	鉄筋の引張試験	(JIS G 3112) (JIS Z 2241)
	(土質関係)	
23	土の含水比試験	(JIS A 1203) (JGS 0121)
24-1	砂置換法による土の密度試験 (較正)	(JIS A 1214)
24-2	砂置換法による土の密度試験 (測定)	(JIS A 1214)
25	土の収縮定数試験	(JIS A 1209) (JGS 0145)
26-1	C B R 試験 (初期状態、吸水膨張試験)	(JIS A 1211) (JGS 0721)
26-2	C B R 試験 (貫入試験)	(JIS A 1211) (JGS 0721)
26-3	C B R 試験 (室内試験結果)	(JIS A 1211) (JGS 0721)
27	修正 C B R 試験	
28	現場 C B R 試験	(JIS A 1222)
29	道路の平板載荷試験	(JIS A 1215)
30	土の直接せん断試験	

様式	名	称
31	ポータブルコーン貫入試験	(JGS 1431)
32	締固めた土のコーン指数試験	(JIS A 1228)
33-1	土の一軸圧縮試験 (初期状態、軸圧縮過程)	(JGS 0716)
33-2	土の一軸圧縮試験 (強度・変形特性)	(JIS A 1216)
34-1	土の液性限界・塑性限界試験 (測定)	(JGS 0511)
34-2	土の液性限界・塑性限界試験 (試験結果)	(JIS A 1205)
35	土粒子の密度試験 (検定、測定)	(JGS 0141)
36-1	土の粒度試験 (ふるい分析)	(JIS A 1202)
36-2	土の粒度試験 (2mmふるい通過分分析)	(JGS 0111)
36-3	土の粒度試験 (粒径加積曲線)	(JIS A 1204)
37-1	突固めによる土の締固め試験 (測定)	(JGS 0131)
37-2	突固めによる土の締固め試験 (締固め特性)	(JIS A 1204)
	(アスファルト関係)	(JGS 0131)
38	アスファルト試験成績一覧表	(JIS A 1210)
39	アスファルトの粘度温度表	(JGS 0711)
40	粗骨材試験成績一覧表 (砕石)	(JIS A 1210)
41	細骨材試験成績一覧表 (砂)	(JGS 0711)
42	石粉及びスクリーニングス試験成績一覧表	(JIS A 1210)
43	骨材粒度曲線表 (アスファルト)	(JGS 0711)
44	合材粒度ふるい分け試験及び配合比決定例	(JIS A 1210)
45	骨材の推定変動範囲 (細骨材及びスクリーニングス)	(JGS 0711)
46	骨材配合率の密度補正	(JIS A 1210)

様式	名 称
47	骨材配合率及び合成粒度 (室内試験)
48	合成粒度曲線 (室内試験)
49	試験配合表 (アスファルト量別)
50-1	アスファルト混合物の安定度試験 (マーシャル式・理論最大密度)
50-2	アスファルト混合物の安定度試験 (マーシャル式)
51	試験結果図表
52	マーシャル試験による基準アスファルト量
53	フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験
54	粗骨材のすりへり試験 (JIS A 1121)
55	アスファルトの抽出試験
56	路面の平坦性試験表 (標準偏差)
57	プルーフローリング試験
	(品質管理関係)
58-1	$\bar{X} - R$ 管理データシート
58-2	$\bar{X} - R$ 管理データシート
58-3	$\bar{X} - R$ 管理図
59-1	$X - R_s - R_m$ 管理データシート
59-2	$X - R_s - R_m$ 管理データシートの2
60	$X - R_s - R_m$ 管理図
61	工事写真 (表紙)

平成 年度

工事 出来形管理図表

一部完成検査，出来形検査，中間検査

月 日	回	検査種別	検 査 員 職・氏名・印	総括監督員 職・氏名・印	監 督 員 職・氏名・印	現場代理人 氏 名 ・ 印
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

完 成 検 査

月 日	検 査 員 職・氏 名・印	総 括 監 督 員 職・氏 名・印	監 督 員 職・氏 名・印	現場代理人 氏 名・印
月 日				

支庁・課名 _____

受注者名 _____

- 注) 1. 出来形管理図表は、本表紙様式により全工種を一括綴りとし、インディックス等により検査毎に仕分けし、更に工種毎に細仕分けするものとする。
2. 出来形管理図表は、検査のつど監督職員に提出するものとする。
3. 工種は、施工管理基準の「工種」の項目とする。

平成 年度

工事 品質管理図表

一部完成検査，出来形検査，中間検査

月 日	回	検査種別	検 査 員 職・氏名・印	総括監督員 職・氏名・印	監 督 員 職・氏名・印	現場代理人 氏 名 ・ 印
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

完 成 検 査

月 日	検 査 員 職・氏 名・印	総 括 監 督 員 職・氏 名・印	監 督 員 職・氏 名・印	現場代理人 氏 名・印
月 日				

支庁・課名 _____

受注者名 _____

- 注) 1. 品質管理図表は、本表紙様式により全工種を一括綴りとし、インディックス等により検査毎に仕分けし、更に工種毎に細仕分けするものとする。
2. 品質管理図表は、検査のつど監督職員に提出するものとする。
3. 工種は、施工管理基準の「工種」の項目とする。

様式 2

出来形管理図表 (図表)

平成 年度 工事 工 管理図表 受注者 現場代理人 (印)

総合支庁 課 監督員 測定者 (印)

番号	
月日	
(単位)	

記事

- 注
1. 工種名は、盛土工、下層路盤工、現場打型水路、吹付工等を記入する。
 2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表と記入する。
 3. 番号は、あらかじめ測点を定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。
 4. 月日は、測定の際、該当測量番号にあたるものを記入する。
 5. 設計値と実測値の単位を定め、目盛に数値を記入する。
 6. 図表には規格値の線を朱書きで記入する。
 7. 記事は、手当の処置等を記入承諾印を押す。

工 程 能 力 図

設計基準値	工事名		主張所・監督官		平成	年	月	日
名称	標準量		期	間	自	至	者	日
品質特性	上限値	下限値						
測定単位	規格限界	大きさ	測	定	理	人		印
測定方法	試料	間隔						印
作業機械名								

--	--	--	--	--	--	--	--	--

月	日	番	号
記事			

注：1. 能力図は、仕様書による規格限界線を朱書で記入する。
 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

様式 2-2

度 数 表

工 事 名 工 種 名 平 成 年 月 日 現 在 受 注 会 社 名 測 定 者 印

← 度 数 (回)																						(-) ← 設 計 値 と の 差 → (+)	

注) 出来形管理で20点以上の場合使用する。

様式 3-1

測定結果表

受注者
現場代理人

印

工種

測定者

印

細別

単位：mm

測定項目 規格値	区分			略			図		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差			
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差			

注) 基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する。

様式 3-2

鋼管溶接測定結果一覧表

工 事 名 _____

受注会社名 _____

工 種 名 _____

測 定 者 _____ 印

測定位置	実 測 値				管理基準値	摘 要
	X	Y	X'	Y'		

様式 3-3

鋼管溶接、塗覆装点検表

工事名 _____

受注会社名 _____

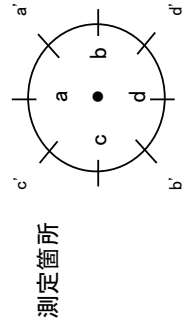
測定者 _____ 印

測定位置	工種	項目	判定		摘要
			良	否	

様式 3-4

管水路ジョイント間隔測定結果一覧表

工事名	受注会社名												印						
	管種名 (呼び径)	測定年月日	測定位置 (管番号)	測定値(接合時)				管理基準値	判定	備考	測定年月日	測定値(埋戻後)				(参考) 規格値	判定	備考	
				a	b	c	d					平均		a	b				c



注、
 1. 管理基準値は接合時の値であり、4箇所平均とする。
 2. (参考)規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
 3. 測定は、呼び径700mm以下の場合には管の外から測定しても良い。
 また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。
 4. 管の外から測定する場合の測定位置は、a、b、c、dの位置とする。
 5. 強化プラスチック複合管のD形の場合は、受口側と挿口側を各々測定すること。

<記載例>

測定値					
測定位置	a	b	c	d	平均
NO.〇〇受(受口側)データ記載)					
〃挿(挿口側)データ記載)					

(参考)
 標線による計測 ジョイント間隔 = 受け口長 l_2 - (標線長 h - 測定長 x_1)
 標線によらない計測 ジョイント間隔 = 受け口長 l_2 - (管有効長 l - 測定長 x_2)

埋設とう性管たわみ量管理表

工事名 _____

受注会社名 _____

管種(長さ) _____

測定者 _____ 印

測定位置 (管番号)	管据付時				管頂埋戻し時				埋戻し完了時				D+t(mm) (内径)(管厚)
	D _U mm	たわみ率 %	D _h mm	たわみ率 %	D _U mm	たわみ率 %	D _h mm	たわみ率 %	D _U mm	たわみ率 %	D _h mm	たわみ率 %	

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

$$\Delta X = [2R - (D_U + t)] \text{ 又は } [2R - (D_h + t)]$$

2R: 管厚中心直径

t: 管厚

- 注) 1. マーキング位置における測定値を記入する。
 2. 測定については「土木工事施工管理基準」別表第1 直接測定による出来形管理 管水路工事 管水路(埋設とう性管)の測定基準による。
 3. 矢板引抜き時の測定は、「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

様式 3-6

鉄筋組立検査結果一覧表

工事名： _____ 受注会社名： _____

工種名： _____

番号	測定年月日	径(mm)及び本数(本)		中心間隔(mm)			かぶり(mm)		組立状況(継手長、曲げ状況、結束等)		備考
		設計値	判定	設計値	検査値	設計値との差	判定	設計値	検査値	判定	

測定箇所： (設計上の位置及び名称) _____ 測定者 _____ 印 _____

記入事項

1. かぶりの許容誤差は±φかつ最小かぶり以上とする。
2. 鉄筋間隔の許容誤差は±φとする。
3. 判定欄は合格、不合格を記入する。

様式 4

杭打ち成績表

工事名 : _____

受注会社名 : _____

工種名 : _____

測定者 _____ 印

杭打込み 月 日	杭番号	杭規格	測定時 杭深度(m)	ハンマー 落下高(cm)	打込回数	リバウンド (cm)	平均沈下 量(cm)	支持力(kN)	摘要

杭配置図

適用公式名 : _____

設計支持力 : _____

(コンクリート関係)

様式 5

セメントの密度試験
(JIS R 5201)

工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ 印

試験日	平成	年	月	日	曜	天候
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		水温 (°C)	
試料	-----					

測定番号	1	2	3	4		
① フラスコの番号						
② 初めの鉱油の読み (ml)						
③ 試料の質量 (g)						
④ 試料と鉱油の読み (ml)						
⑤ 密度 $\frac{\text{③}}{\text{④} - \text{②}}$						
⑥ 許容差						
⑦ 平均値						
考察	-----					

セメント粉末度試験(比表面積試験)
(JIS R 5201)

工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ 印

試験日	平成 年 月 日 曜 天候			
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)	
試料	-----			
①セルと水銀との質量 (g)				
②セルの質量 (g)				
③水銀の質量 ① - ② (g)				
④(セル)+(セメント)+(水銀)の質量 (g)				
⑤(セル)+(セメント)の質量 (g)				
⑥水銀の質量 ④ - ⑤ (g)				
⑦水銀の密度 (g/cm ³)				
⑧ベットの体積 $\frac{③ - ⑥}{⑦}$ (cm ³)				
⑨平均値				
測定番号	1	2	3	4
試料の質量 (g)				
標準試料降下時間 t ₀ (s)				
標準試料比表面積 (cm ² /g)				
セメント降下時間 t (s)				
セメント比表面積 (cm ² /g)				
許容差				
平均値				
考察	-----			

セメント粉末度試験(網ふるい試験)
 (JIS R 5201)

工事名 _____ 受注会社名 _____

工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

試験日	平成 年 月 日 曜 天候				
試験日の状態	室温 (°C)			湿度 (%)	
試料	-----				

測定番号	1	2	3	4	
① 試料の質量 (g)					
② 残留質量 (g)					
③ 粉末度 $\frac{②}{①} \times 100$ (%)					
④ 平均値 (%)					
考察	-----				

様式 7

セメントの凝結試験
(JIS R 5201)

工事名 _____ 受注会社名 _____

工種名 _____ 測定者 _____ 印

試験日	平成 年 月 日 曜		天候		
試験日の状態	室内の温度 (°C)	室内の湿度 (%)	水温 (°C)		
	湿気箱内の温度 (°C)	湿気箱内の湿度 (%)			
試料					

測定番号		1	2	3	4
試料の質量 (g)					
水の量 (mℓ)					
注水時刻 (h・min)					
始発時刻 (h・min)					
始発時間 (min)					
終結時刻 (h・min)					
終結時間 (h)					
考察	-----				

セメントの安定性試験
(JIS R 5201)

工事名 _____ 受注会社名 _____

工種名 _____ 測定者 _____ 印

試験日	平成 年 月 日 曜			天候	
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)		
養生温度(°C)					
試料	-----				

測定番号	1	2	3	4	
試料の質量 (g)					
水の量 (ml)					
ひび割れ・反りの有無					
試験結果					
考察	-----				

様式 9

セメントの強さ試験
(JIS R 5201)

工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ 印

試験日		平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
試験日の状態	室温 (°C)				
	湿度 (%)				
養生温度 (°C)					
材 齢 (日)					
供試体質量 (g) (脱型直後)	1				
	2				
	3				
供試体質量 (g) (強さ試験直前)	1				
	2				
	3				
曲 げ 試 験	最大荷重 (N)	1			
		2			
		3			
	曲げ強さ (N/mm ²)	1			
		2			
		3			
平均値 (N/mm ²)					
圧 縮 試 験	最大荷重 (N)	1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
	圧縮強さ (N/mm ²)	1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
平均値 (N/mm ²)					
供試体作製日 : 平成 年 月 日					

細骨材の密度および吸水率試験
(JIS A 1109)

工事名 _____ 受注会社名 _____
 工種名 _____ 測定者 _____ 印

試験日	平成 年 月 日 曜 天候			
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)	乾燥温度 (°C)
試料	-----			
測定番号	1	2	3	4
① ピクノメーターの番号				
② 500mlの目盛りまで水を満たしたピクノメーターの質量 m ₁ (g)				
③ 試料の質量 m ₂ (g)				
④ 試料と水で500mlの目盛りまで満たしたピクノメーターの質量 m ₃ (g)				
⑤ 密度 $\frac{③ \times \rho_w}{② + ③ - ④}$ (g/cm ³)				
⑥ 平均値				
⑦ 平均値との差				
⑧ 試料の質量 m ₄ (g)				
⑨ 試料の乾燥質量 m ₅ (g)				
⑩ 吸水率 $\frac{⑧ - ⑨}{⑨} \times 100$ (%)				
⑪ 平均値 (%)				
⑫ 平均値との差 (%)				
考察	----- ----- ----- ----- ----- ----- -----			
試験温度における水の密度 $\rho_w =$ _____ g/cm ³				

粗骨材の密度および吸水率試験
(JIS A 1110)

工事名 _____ 受注会社名 _____

工種名 _____ 測定者 _____ 印

試 験 日	平 成 年 月 日 曜 天候			
試験日の状態	室 温 (° C)	湿 度 (%)	水 温 (° C)	乾燥温度 (° C)
試 料				
測 定 番 号	1	2	3	4
① 試 料 の 質 量 m_1 (g)				
② 水 中 の か ご と 試 料 の 質 量 m_2 (g) 見 掛 け の 質 量				
③ 水 中 の か ご の 見 掛 け の 質 量 m_3 (g)				
④ 水 中 の 試 料 の 見 掛 け の 質 量 $(m_2 - m_3)$ (g)				
⑤ 密 度 $\frac{① \times \rho_w}{① - ④}$ (g/cm ³)				
⑥ 平 均 値				
⑦ 平 均 値 と の 差				
⑧ 乾 燥 後 の 試 料 の 質 量 m_4 (g)				
⑨ 吸 水 率 $\frac{① - ⑧}{⑧} \times 100$ (%)				
⑩ 平 均 値 (%)				
⑪ 平 均 値 と の 差 (%)				
考 察				
試験温度における水の密度 $\rho_w =$				g/cm ³

細骨材の表面水率試験
(JIS A 1111)

工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

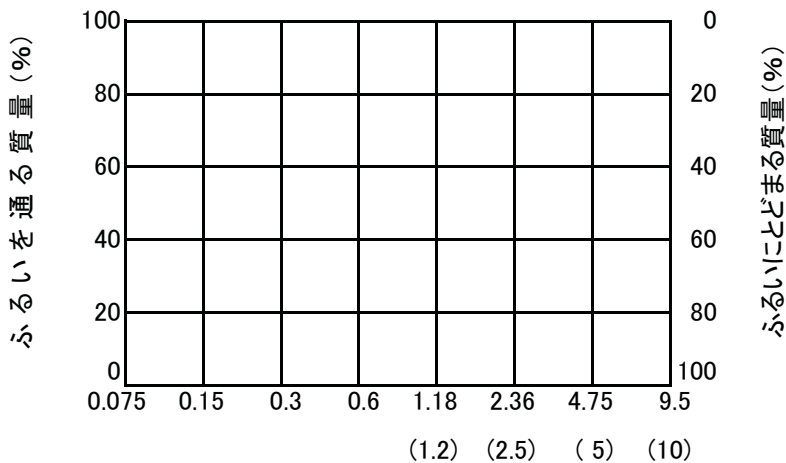
測定者 _____ 印

試験日	平成	年	月	日	曜	天候		
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		水温 (°C)			
試料	-----							
	d _s : 試料の表面乾燥密度 = g/cm ³							
測定番号	1		2		3		4	
① 試料の質量 m ₁ (g)								
② (フラスコ)+(マークまでの水)の質量 m ₂ (g)								
③ (フラスコ)+(マークまでの水)+ (試料) の質量 m ₃ (g)								
④ m=①+②-③ (g)								
⑤ ms = $\frac{\text{①}}{d_s}$								
⑥ 表面水率 H = $\frac{\text{④}-\text{⑤}}{\text{①}-\text{④}} \times 100$ (%)								
⑦ 平均値 (%)								
⑧ 平均値との差 (%)								
⑨ 試料を覆う水量 V ₁ (mL)								
⑩ (試料)+(水)の容積 V ₂ (mL)								
⑪ V=⑩-⑨ (g)								
⑫ 表面水率 = H = $\frac{\text{⑪}-\text{⑤}}{\text{①}-\text{⑪}} \times 100$ (%)								
⑬ 平均値 (%)								
⑭ 平均値との差 (%)								
考察	-----							

骨材のふるい分け試験（細骨材）
(JIS A 1102)

工事名 _____ 受注会社名 _____
 工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

試験日	平成 年 月 日 曜 天候				
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		
試料	-----				
ふるいの呼び寸法 (mm)	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)
9.5 (10)					
4.75 (5)					
2.36 (2.5)					
1.18 (1.2)					
0.6					
0.3					
0.15					
0.075					
受皿					
計					
粗粒率					



考 察

骨材のふるい分け試験(粗骨材)
(JIS A 1102)

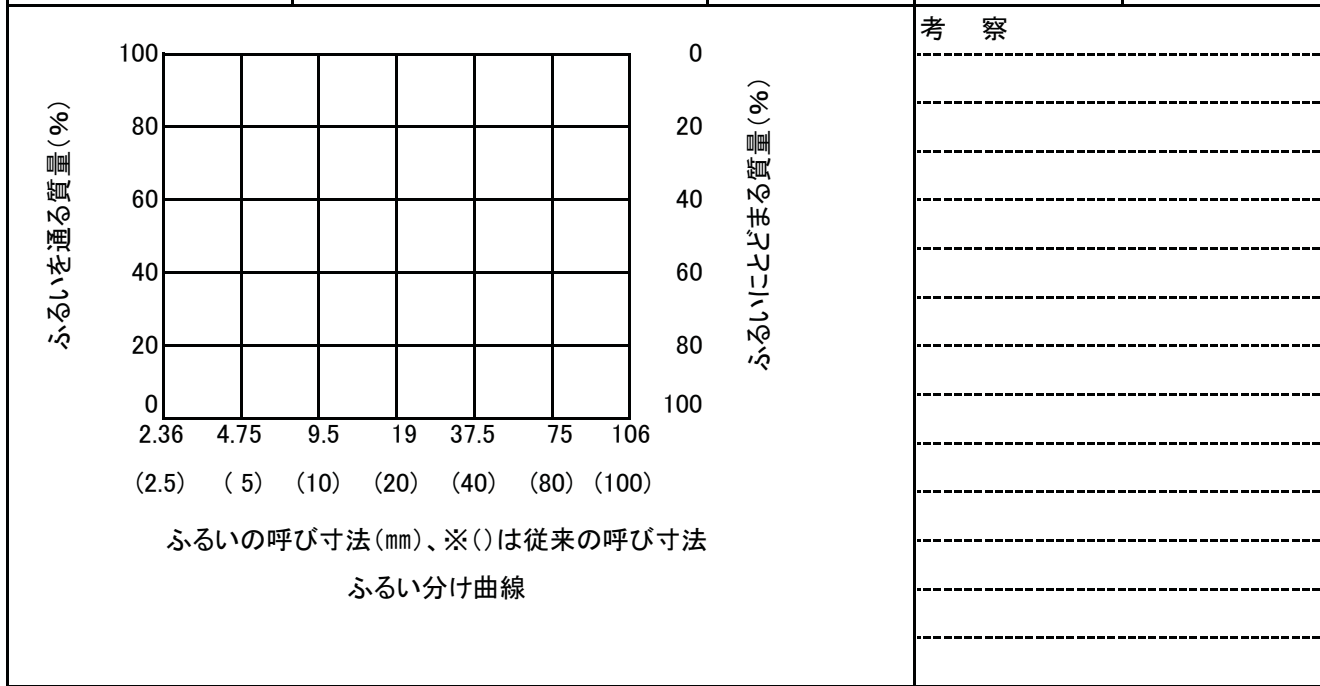
工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ 印

試験日	平成 年 月 日	曜	天候		
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		
試料	-----				
ふるいの呼び寸法 (mm)	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)
最大寸法 (mm)			粗粒率		



骨材試験成績一覧表

工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ 印

試料採取地名									
試験日									
ふるい分け	粗骨材	150mm以上通過質量百分率 %							
		150 ~ 100 "							
		100 ~ 80 "							
		80 ~ 60 "							
		60 ~ 50 "							
		50 ~ 40 "							
		40 ~ 30 "							
		30 ~ 25 "							
		25 ~ 20 "							
		20 ~ 15 "							
		15 ~ 10 "							
		10 ~ 5 "							
		5以下 "							
		粗粒率							
	細骨材	5mm以上通過質量百分率 %							
		5 ~ 2.5 "							
		2.5 ~ 1.2 "							
		1.2 ~ 0.6 "							
		0.6 ~ 0.3 "							
		0.3 ~ 0.15 "							
0.15以下 "									
粗粒率									
細骨材	密度								
	単位容積質量(標準) kg/m ³								
	単位容積質量(軽装) kg/m ³								
	安定性 %								
	吸水量 %								
粗骨材	洗い試験 %								
	密度								
	単位容積質量(標準) kg/m ³								
	単位容積質量(軽装) kg/m ³								
	安定性 %								
	吸水量 %								
	すりへり減量 %								
	洗い試験 %								
軟石量試験 %									
細長扁平試験 %									
備考									

コンクリートの圧縮強度試験
(JIS A 1108)

工事名 _____ 受注会社名 _____

工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

試験日	平成 年 月 日 曜			天候						
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		水温 (°C)					
試料										
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)				
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm ? mm
材 齢 (日)										
養生方法					養生温度 (°C)					
供試体番号	1		2		3		4			
平均直径 (mm)										
断面積 (mm ²)										
平均高さ (mm)										
スランプ (cm)										
質 量 (kg)										
最大荷重 (N)										
圧縮強度 (N/mm ²)										
平均圧縮強度 (N/mm ²)										
見掛け密度 (kg/m ³)										
平均見掛け密度 (kg/m ³)										
供試体の破壊状況のスケッチ										
考 察	-----									

コンクリートの曲げ強度試験
(JIS A 1106)

工事名 _____ 受注会社名 _____
 工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

試験日	平成 年 月 日 曜			天候						
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		水温 (°C)					
試料										
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m ³)				
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm mm ∟ ∟ mm mm
材 齢 (日)										
養生方法				養生温度 (°C)						
供試体番号	1		2		3		4			
平均幅 (mm)										
平均高さ (mm)										
スパン (mm)										
最大荷重 (N)										
曲げ強度 (N/mm ²)										
平均曲げ強度 (N/mm ²)										
破壊断面とこれに近い支点との距離 (mm)										
供試体の破壊状況のスケッチ										
考 察	----- ----- ----- ----- ----- ----- -----									

フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験
(JIS A 5308、JIS A 1144)

工事名 _____ 受注会社名 _____ 印
 工種名 _____ 測定者 _____

試験日	平成	年	月	日	天	候				
試験料	採取方法									
	保管方法									
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプの範囲 (cm)	空気量の範囲 (%)	水セメント比 (%)	細骨材率 (%)	水	セメント	細骨材	粗骨材	混和材料
								~ mm	~ mm	
測定内容	分析法									
	測定器名及び指示薬									
測定回数	1	2	3	平均						
塩化物イオン濃度 (%)										
塩化物量 (kg/m ³)	判定基準					測定場所				
	_____以下					現場 工場				

骨材のアルカリシリリ力反応性試験（化学法）
 (JIS A 5308、JIS A 1145)

工事名 _____ 受注会社名 _____ 印
 工事種名 _____ 測定者 _____

試験日		平成		年		月		日		有害度の判定								
骨材の種類	骨材の産地	繰返し	試験料量 (g)	反応時間 (hf)	アルカリ濃度減少量 (Rc) (mmol/l)				吸光度法		溶解シリリ力量 (Sc)		質量法		原子吸光度法		有害度の判定	
					V ₁ (ml)	V ₂ (ml)	V ₃ (ml)	Rc	平均値	V (ml)	C (mg/l)	Sc	平均値	W (g)	Sc	平均値		C (mg/l)
		1																
		2																
		3																
		1																
		2																
		3																
		1																
		2																
		3																
備考																		

様式 20

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)

(JIS A 5308、JIS A 1146)

工事名 _____

受注会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ 印

試験日	平成 年 月 日		曜 天候				
試験日の状態	気温 (°C)	室温 (°C)	容器内温度 (°C)	容器内湿度 (%)			
	セメント 種別 全アルカリ						
骨材 産地 種別							
区分	材 齢	脱型時	2週間	4週間	8週間	3ヶ月	6ヶ月
① 基長 L (有効ゲージ長) ($\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
② 供試体脱型時のダイヤル ゲージの読み X_{ini} ($\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
③ 同時測定した標準尺のダ イヤルゲージの読み sX_{ini} ($\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
④ 材齢における供試体のダ イヤルゲージの読み X_i ($\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
⑤ 材齢における標準尺のダ イヤルゲージの読み sX_i ($\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
⑥ 膨張率 (%) $\frac{(\text{④}-\text{⑤})-(\text{②}-\text{③})}{L} \times 100$	1						
	2						
	3						
	平均						
判 定							
精 度							
考 察							

鉄筋の曲げ試験
(JIS G 3112、JIS Z 2248)

工事名 _____ 受注会社名 _____

工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

試験日	平成	年	月	日	曜	天候
試験日の状態	気温 (°C)			室温 (°C)		
試料	-----					
試料番号						
呼び径 (mm)						
実測径 (mm)						
種別						
記号						
曲げ角度 (度)						
内側半径 (mm)						
判定						
考察	-----					

(土質関係)

様式 23

土の含水比試験
(JIS A 1203、JGS0121)

工事名 _____ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 _____
工種名 _____ 試料採取地点 _____ 測定者 _____ 印

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量
 m_b : (炉乾燥試料+容器)質量
 m_c : 容器質量

(社)地盤工学会規格準用

砂置換法による土の密度試験(校正)
(JIS A 1214)

工事名 _____ 受注会社名 _____ 試験日 平成 年 月 日

工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

I. ジャーとピクノメータートップとの体積の校正

測定 NO.	1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに水を満たした質量 m_2 g					
測定器の質量 m_1 g					
満たした水の質量 $m_2 - m_1$ g					
測定器中の水の温度 t °C					
t °Cにおける水1g当たりの体積 K cm ³ /g					
ジャーとピクノメータートップとの体積 $V_1 = K(m_2 - m_1)$ cm ³					
平均値 V_1 cm ³					

II. 試験用砂の乾燥密度の校正

測定 NO.	1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした質量 m_3 g					
測定器の質量 m_1 g					
測定器中の砂の質量 $m_4 = m_3 - m_1$ g					
試験用砂の乾燥密度 $\rho_{ds} = m_4 / V_1$ g/cm ³					
平均値 ρ_{ds} g/cm ³					

III. 漏斗を満たすのに必要な砂の質量の校正

測定 NO.	1	2	3	4	5
測定器と入れた砂の質量 m_3' g					
漏斗を満たした砂を除き測定器と残った砂の質量 m_5 g					
漏斗を満たすのに必要な砂の質量 $m_6 = m_3' - m_5$ g					
平均値 m_6 g					

特記事項

砂置換法による土の密度試験(測定)
(JIS A 1214)

工事名 _____ 受注会社名 _____ 試験日 平成 年 月 日

工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

測定器 NO.		土質名称	
試験用砂の乾燥密度	ρ_{ds} g/cm ³	漏斗を満たすのに必要な砂の質量 m_6 g	
試験孔 NO.			
最大粒径	mm		
容器 NO.			
容器質量	g		
(試験孔から取り出した土+容器)質量	g		
試験孔から取り出した湿潤土の質量	m_7 g		
試験孔から取り出した土の炉乾燥質量	$m_0=100m_7/(w+100)$ g		
ジャーとピクノメータトップに砂を満たした質量	m_3 g		
測定器と残った砂の質量	m_8 g		
試験孔および漏斗に入れた砂の質量	$m_9=m_3-m_8$ g		
試験孔を満たすのに要する砂の質量	$m_{10}=m_9-m_6$ g		
試験孔の体積	$V_0=m_{10}/\rho_{ds}$ cm ³		
湿潤密度	$\rho_t=m_7/V_0$ g/cm ³		
乾燥密度	$\rho_d=m_0/V_0$ g/cm ³		
含	容器 NO.		
	(試料+容器)質量	m_a g	
	(炉乾燥試料+容器)質量	m_b g	
	容器質量	m_c g	
水		w %	
	容器 NO.		
	(試料+容器)質量	m_a g	
	(炉乾燥試料+容器)質量	m_b g	
比	容器質量	m_c g	
		w %	
平均値	平均値	w %	
	含水比	w %	
	湿潤密度	ρ_t g/cm ³	
	乾燥密度	ρ_d g/cm ³	

特記事項

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

土の収縮定数試験
(JIS A 1209、JGS 0145)

工事名 _____ 受注会社名 _____ 試験日 平成 年 月 日

工種名 _____ 測定者 _____ 印 _____

試料番号 (深さ)						
測定 NO.						
収縮皿 NO.						
湿潤試料の体積	ガラス板の質量 m_g g					
	収縮皿の質量 m_c g					
	水の入った収縮皿とガラス板の質量 m g					
	水の温度 T °C					
	水の密度 ρ_w g/cm ³					
	湿潤試料の体積 V cm ³					
炉乾燥試料の体積	パラフィン塗布後の試料の質量 m_1 g					
	水中における吊り皿の見掛けの質量 m_2 g					
	水中における試料および吊り皿の見掛け質量 m_3 g					
	炉乾燥試料の質量 m_s g					
	パラフィンの密度 ρ_p g/cm ³					
	炉乾燥試料の体積 V_o cm ³					
含水比	湿潤試料と収縮皿の質量 m_a g					
	湿潤試料の含水比 w %					
	平均値 w %					
収縮限界	収縮限界 w_s %					
	平均値 w_s %					
収縮比	収縮比 R					
	平均値 R					
ある含水比 w_1 %						
体積収縮率 C %						
線収縮 L_s %						

特記事項

$$V = \frac{(m - m_c - m_g)}{\rho_w}$$

$$w_s = w - \frac{(V - V_o) \rho_w}{m_s} \times 100$$

$$R = \frac{m_c}{V_o \cdot \rho_w}$$

$$C = (w_1 - w_s)R$$

$$V_o = \frac{(m_1 - m_3 + m_2)}{\rho_w} - \frac{(m_1 - m_c)}{\rho_n}$$

$$w = \frac{(m_a - m_c - m_g)}{m_s} \times 100$$

$$L_s = \left[1 - \sqrt[3]{\frac{100}{C + 100}} \right] \times 100$$

(社)地盤工学会規格準用

CBR試験(初期状態、吸水膨張試験)
(JIS A 1211、JGS 0721)

工事名 _____ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 _____

試験採取地点 _____ 採取日 平成 年 月 日 測定者 _____ 印 _____

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	土質名称		
突き固め方法		落下高さ	cm	自然含水比 w_n	%	
試験準備	準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数 回/層	最適含水比 w_{opt}	%	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³	
試験準備	試験調整後含水比 w_o %	モールド	内径	cm	荷重板質量	kg
			高さ ¹⁾	cm	モールド容量 V	cm ³

供試体 NO. _____								
含水比	容器 NO. _____							
	(試料+容器)質量 m_a	g						
	(炉乾燥試料+容器)質量 m_b	g						
	容器質量 m_c	g						
	含水比 w_1	%						
平均値 w_1		%						
密度	(試料+モールド)質量 m_2 ²⁾	g						
	モールド質量 m_1 ²⁾	g						
	湿潤密度 ρ_t	g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d	g/cm ³						
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量mm	変位計の読み	膨張量mm	変位計の読み	膨張量mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 m_3 ²⁾	g							
膨張比 γ_e	%							
湿潤密度 ρ_t'	g/cm ³							
乾燥密度 ρ_d'	g/cm ³							
平均含水比 w'	%							

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho_t' = \frac{m_3 - m_1}{v(1 + \gamma_e/100)} \quad \rho_t = \frac{m_2 - m_1}{V}$$

$$\rho_d' = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e/100} \quad \rho_d = \frac{\rho_t}{1 + w_1/100}$$

$$w' = \left[\frac{\rho_t'}{\rho_d'} - 1 \right] \times 100 \quad w_1 = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

(社)地盤工学会規格準用

C B R 試 験 (貫 入 試 験)
(JIS A 1211、JGS 0721)

工 事 名 _____ 試験日 平成 年 月 日 _____ 受注会社名 _____

試料採取地点 _____ 採取日 平成 年 月 日 _____ 測定者 _____ 印 _____

試 験 条 件		水浸、非水浸		貫入速さ mm/min				荷重板質量 kg							
養 生 条 件		日 空 気 中		荷 重 計 NO.				貫入スピンドルの断面積 cm ²							
		日 水 浸		容 量 kN				較正係数 $\frac{MN/m^2}{目盛}$ $\frac{kN}{目盛}$							
供 試 体 NO.				供 試 体 NO.				供 試 体 NO.							
貫 入 量 mm		荷重強さ、荷重		貫 入 量 mm		荷重強さ、荷重		貫 入 量 mm		荷重強さ、荷重					
読み		平均	荷重計 の読み	MN/m ² kN	読み		荷重計 の読み	MN/m ² kN	読み		平均	荷重計 の読み	MN/m ² kN		
1	2				1	2			1	2					
0					0				0						
0.5					0.5				0.5						
1.0					1.0				1.0						
1.5					1.5				1.5						
2.0					2.0				2.0						
2.5					2.5				2.5						
3.0					3.0				3.0						
4.0					4.0				4.0						
5.0					5.0				5.0						
7.5					7.5				7.5						
10.0					10.0				10.0						
12.5					12.5				12.5						
貫入試験後の 含水比	容器NO.				貫入試験後の 含水比	容器NO.				貫入試験後の 含水比	容器NO.				
	m _a g					m _a g					m _a g				
	m _b g					m _b g					m _b g				
	m _c g					m _c g					m _c g				
	w ₂ %					w ₂ %					w ₂ %				
平均値 w ₂ %				平均値 w ₂ %				平均値 w ₂ %							

特記事項

$$w_2 = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量

m_b : (炉乾燥試料+容器)質量

m_c : 容器質量

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]

[1kN ≒ 102kgf]

(社)地盤工学会規格準用

CBR試験(室内試験結果)
(JIS A 1211、JGS 0721)

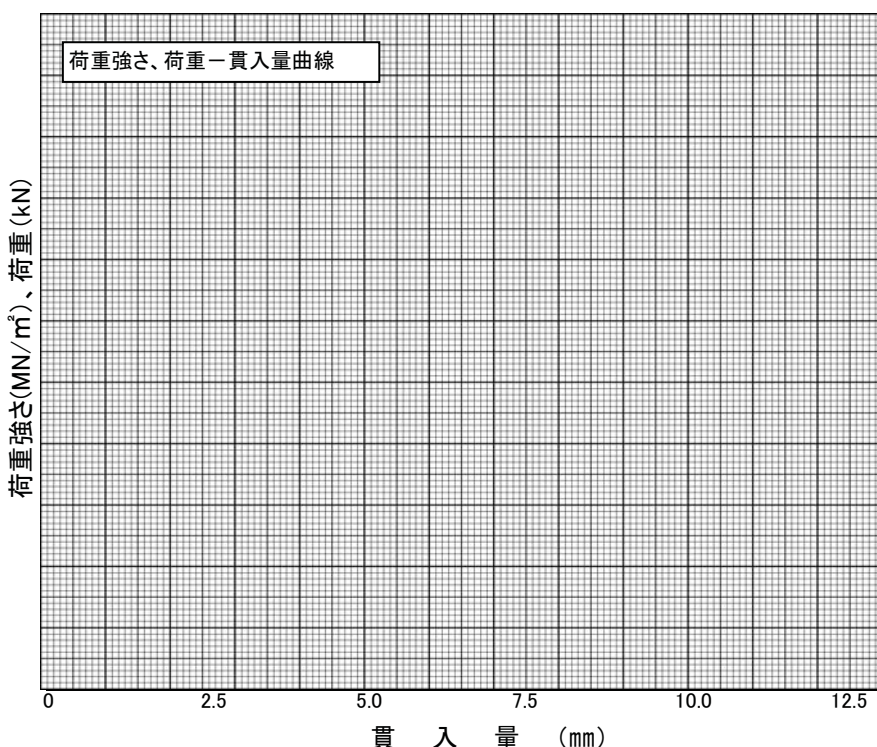
工事名 _____ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 _____

試料採取地点 _____ 採取日 平成 年 月 日 測定者 _____ 印 _____

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg		土質名称
突固め方法		落下高さ	cm		空気乾燥前含水比 %
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層		自然含水比 w %
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数	層		最適含水比 w_{opt} %
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	日水浸		高さ ¹⁾	cm	

供試体 NO.				
吸水膨張試験	前	含水比 w %		
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³		
	後	膨張比 γ_e %		
		平均含水比 w' %		
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³		
貫入試験		試験後の含水比 w_2 %		
		貫入量2.5mmにおけるCBR %		
		貫入量5.0mmにおけるCBR %		
		CBR %		

平均CBR %



特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

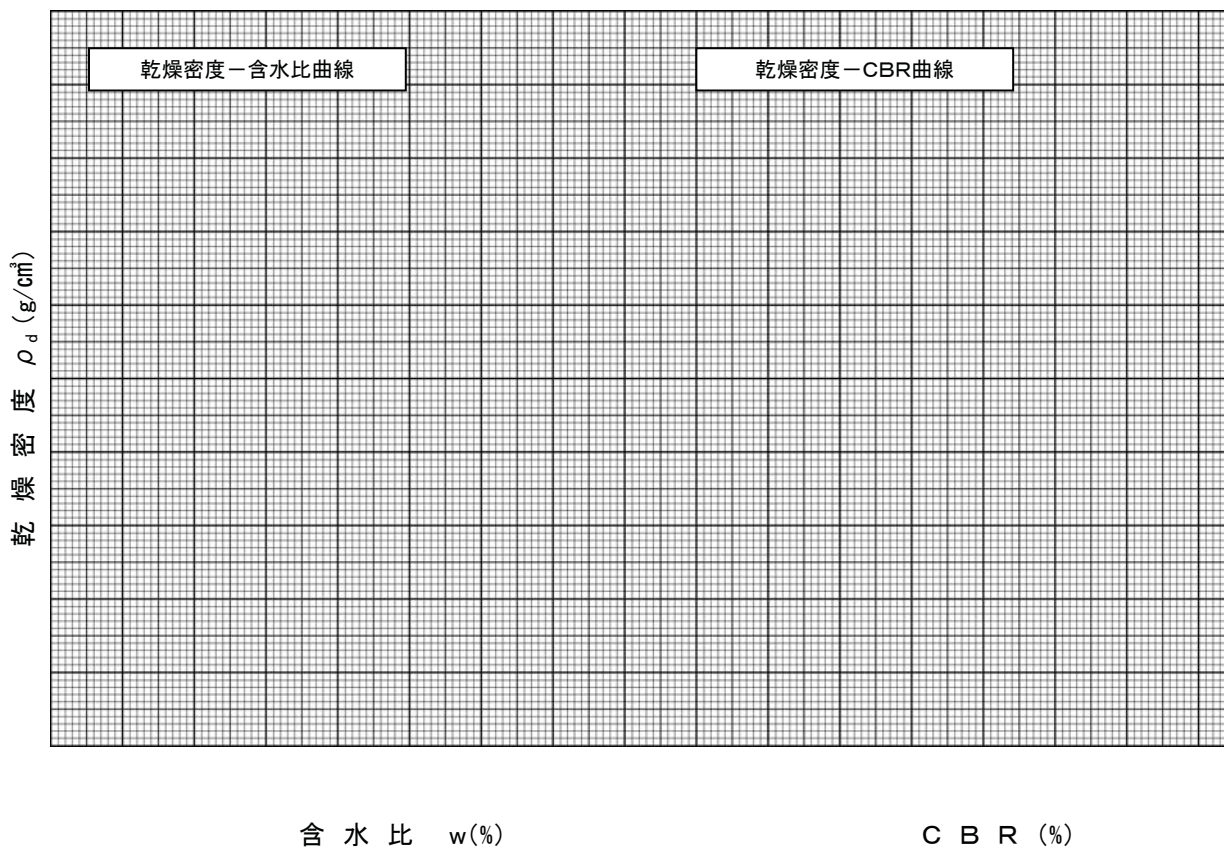
貫入量mm		2.5	5.0
荷重強さ重	供試体 NO.		
	供試体 NO.		
	供試体 NO.		
標準荷重強さ MN/m ²		6.9	10.3
標準荷重 kN		13.4	19.9

修正 C B R 試験

工事名 _____ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 _____

試料採取地点 _____ 採取日 平成 年 月 日 測定者 _____ 印 _____

突固め回数	回/層	(層)			(層)			(層)		
供試体 NO.										
乾燥密度 ρ_d	g/cm ³									
平均値 ρ_d	g/cm ³									
貫入量2.5mmにおけるCBR	%									
平均値	%									
貫入量5.0mmにおけるCBR	%									
平均値	%									
ランマー質量	kg	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³			締固め度 %					
		最適含水比 w_{opt} %			修正CBR %					



特記事項 _____